

飯田權隱 いひだ 僧侶。文久三年四月二十一日周防國都濃郡花岡生れ、

昭和十一年九月二十日歿（八六三—九三七）。舊姓片野、幼名政熊。明治

十八年東京大學別科醫學部卒。（二十一年福島縣澁ノ上に開業。翌年中

原南天棒を訪問師資の禮を執る。その後埼玉、群馬、静岡に開業。二

十年西有穆山に和見、翌年南天棒の印可を受く。二十八年日露戦役中、

出征遺家族の無料診療奉仕により木杯を下賜せらる。大正六年南天棒

隱居後の禪會に代講の依頼あるも固辭すると、各地の諸會を主宰、も

ろ辯義『棒語』、『禪機』等の執筆と活躍。十一年原田道吉を導師と

して別號、『我發心の真相』を著はして後し。昭和二十一年興禪護國會を

主宰。

遺稿集『禪友い眞のり書』（昭和十八年十月二十日大京出版社）。

